工芸科学部2009年度入学者卒業要件表

■ 生命物質科学域

授業科目区分／課程	全学共通科目							専門教育科目											総合計	備考
	言語教育科目			人間教養科目				導入科目	専門基礎科目				課程専門科目					専門教育科目合計		
	必修	選択	言語教育科目合計	ＫＩＴ教養科目	基本教養科目	体の科学	人間教養科目合計（注３）	必修	必修	選択必修	選択	専門基礎科目合計	必修	選択必修		選択	課程専門科目合計			
応用生物学課程	4		10	8	6		20	2	8	22		30	27	10 選択必修Aより	10 選択必修Bより		66	100	130	
生体分子工学課程	4		10	8	6		20	2	12	22	地学Ⅰ・地学Ⅱ・地学実験・生物学基礎実験は卒業要件に含まれない	34	20	12 選択必修Aより	12 選択必修Bより			90	＊ 130	＊を付した単位数には、合計１０単位を限度として、特に科目を指定せず、修得単位を含めることができる。
高分子機能工学課程	4		10	8	6		20	2	12	22	地学Ⅰ・地学Ⅱ・地学実験・生物学基礎実験は卒業要件に含まれない	34	20	12 選択必修Aより	12 選択必修Bより			90	＊ 130	＊を付した単位数には、合計１０単位を限度として、特に科目を指定せず、修得単位を含めることができる。
物質工学課程	4		10	8	6		20	2	22	12	地学Ⅰ・地学Ⅱ・地学実験・生物学基礎実験は卒業要件に含まれない	34	24	10 分子物質化学分野より 合計２４単位	10 材料物質化学分野より			＊ 90	＊＊ 130	１．＊を付した単位数には、合計６単位を限度として、他課程（他学域を含む）の課程専門科目から修得した単位を含めることができる。 ２．＊＊を付した単位数には、合計１０単位を限度として、特に科目を指定せず、修得した単位を含めることができる。

注１．表中の数字は、最低限必要な修得単位数を示す。
　２．教職関係科目及び学芸員科目は、総合計には含まれない。
　３．「人間教養科目合計」には、３大学（京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学）連携教養教育に係る単位互換制度で修得した単位を含めることができる。

工芸科学部2009年度入学者卒業要件表

■ 設計工学域

授業科目区分 / 課程	全学共通科目							専門教育科目										総合計	備考
	言語教育科目			人間教養科目				導入科目	専門基礎科目				課程専門科目					専門教育科目合計	
	必修	選択	言語教育科目合計	KIT教養科目	基本教養科目	体の科学	人間教養科目合計 (注3)	必修	必修	選択必修	選択	専門基礎科目合計	必修	選択必修			選択		
電子システム工学課程	4		10	8	6		20	4	18			18	37	24				90	＊130	＊を付した単位数には、合計１０単位を限度として、特に科目を指定せず、修得した単位を含めることができる。
情報工学課程	4		10	8	6		20	4	16	4		22	37	10 ☆Aより	10 ☆Bより	4 ☆Cより		90	＊130	＊を付した単位数には、合計１０単位を限度として、特に科目を指定せず、修得した単位を含めることができる。
機械システム工学課程	4		10	☆Aより2 ☆Bより2 合計8	6	2 ☆Cより	20	2	8	14		24	44				20	90	＊130	＊を付した単位数には、合計１０単位を限度として、特に科目を指定せず、修得した単位を含めることができる。
デザイン経営工学課程	4		10	8	6		20	2	2	16	12単位を超えて卒業要件に加算できない	18	20	4 ☆Aより	4 ☆Bより	4 ☆Cより	18 ☆より		70	＊130	＊印を付した単位数には、合計３０単位を限度として、次の修得単位を含めることができる。 １．全学共通科目ならびに大学間協定に基づく単位互換制度で修得した単位。 ２．専門基礎科目（選択必修・選択）・課程専門科目・他課程専門科目。 ※ただし、１については、合計１０単位を限度とする。

注１．表中の数字は、最低限必要な修得単位数を示す。
　２．教職関係科目及び学芸員科目は、総合計には含まれない。
　３．「人間教養科目合計」には、３大学（京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学）連携教養教育に係る単位互換制度で修得した単位を含めることができる。

工芸科学部2009年度入学者卒業要件表

■ 造形科学域

授業科目区分 / 課程	全学共通科目							専門教育科目											総合計	備考
	言語教育科目			人間教養科目				導入科目	専門基礎科目				課程専門科目						専門教育科目合計	
	必修	選択	言語教育科目合計	K－T教養科目	基本教養科目	体の科学	人間教養科目合計（注３）	必修	必修	選択必修	選択	専門基礎科目合計	必修	選択必修 A	選択必修 B	選択必修 C	選択必修 D	選択		
造形工学課程	4		10	8	6		20	4					8	6	6	6	4		90	＊130	＊を付した単位数には、合計１０単位を限度として、特に科目を指定せず、修得した単位を含めることができる。

注１．表中の数字は、最低限必要な修得単位数を示す。
２．教職関係科目及び学芸員科目は、総合計には含まれない。
３．「人間教養科目合計」には、３大学（京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学）連携教養教育に係る単位互換制度で修得した単位を含めることができる。

工芸科学部2009年度入学者卒業要件表

■ 先端科学技術課程

課程	系	履修コース	全学共通科目 言語教育科目 選択必修	選択	言語教育科目合計	人間教養科目 KIT教養科目	基本教養科目	体の科学	人間教養科目合計（注3）	全学共通科目合計	専門教育科目 専門基礎科目 必修	選択必修	選択	専門基礎科目合計	課程専門科目 系共通科目 又はコース専門科目 選択必修	選択	合計	専門教育科目合計（注4）	総合計	備考
先端科学技術課程	生命物質科学	バイオ科学 ナノ材料科学	2		6					22	4			20	20			60	＊ 124	＊を付した単位数には、合計４２単位を限度として、特に科目を指定せず、修得した単位を含めることができる。
	設計工学	メカトロニクス技術 情報設計技術																		

注１．表中の数字は、最低限必要な修得単位数を示す。
２．教職関係科目及び学芸員科目は、総合計には含まれない。
３．「人間教養科目合計」には、３大学（京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学）連携教養教育に係る単位互換制度で修得した単位を含めることができる。
４．他の履修コースの専門教育科目を修得した単位は、専門教育科目合計に加算される。